

都市再生整備計画 事後評価シート
大崎地区

令和3年3月
新潟県三条市

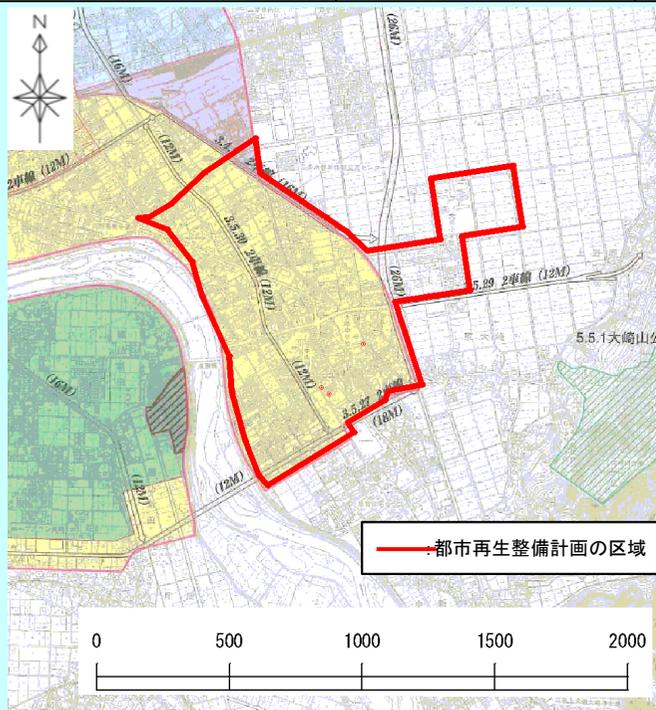
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県		市町村名	三条市		地区名	大崎地区			面積	81	
交付期間	平成27年度～平成31年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	238.9百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園、地域生活基盤施設(3件)									
		提案事業	まちづくり活動推進事業(浸水ハザードマップ)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(仮称)大崎中学校跡地広場	具体的な整備の方針を再検討する必要があったことから、本計画期間内での事業は実施せず、事業を取り下げたもの。				削除した本事業による指標への影響は他事業にてカバーするため、影響は無い。				
		提案事業	まちづくり活動推進事業(浸水ハザードマップ)	内水被害だけでなく豪雨災害ハザードマップ作成事業を別財源にて実施したことに伴い、事業を取り下げた。				他財源で豪雨災害ハザードマップを作成したため指標に影響は無い。				
	新たに追加した事業	基幹事業	-	-				-				
		提案事業	-	-				-				
交付期間の変更	当初	-	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響				-					
	変更	-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	計画区域における浸水予想区域面積	ha	23.7	H26 0	H31	モニタリング	0	○	あり なし	内水対策事業の完了によりリスクが軽減された。	-
	指標2	市民満足度調査	ポイント	2.868	H26 2.968	H31		3.024	○	あり なし	内水対策事業及び地域防災支援センターの整備によりリスクが軽減されたとともに、災害時の避難所としての昨日確保がなされた。	-
	指標3									あり なし		
	指標4									あり なし		
	指標5									あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
	その他の数値指標3											
4)定性的な効果発現状況												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	降雨時における浸水状況の確認		都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	○	引き続き、降雨状況に応じた浸水状況の確認を行う。				
	住民参加プロセス	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

様式2-2 地区の概要

大崎地区(新潟県三条市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
やすらぎと暮らしやすさの感じられる地域の創造 ① 浸水被害の改善に向けた定住の場づくり ② 周辺環境と調和した活力ある産業拠点づくり	計画区域における浸水予想区域面積 単位: ha	23.7 H26	0 H31	0 H
	水害対策の強化(市民満足度調査) 単位: ポイント	2.968 H26	3.024 H30	- H
	単位:	H	H	H
	単位:	H	H	H
	単位:	H	H	H



まちの課題の変化

近年の豪雨被害、土地利用状況の変化、施設老朽化といった様々な課題をふまえ、三条市の各排水区(大崎地区含む)に対し、雨水の全体計画を効率的・効果的に見直す必要がある。

今後のまちづくり
の方策
(改善策を含む)

排水系統及び処理方法を雨水計画の方針に基づいた排水計画に基づき内水対策を進める。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
B. 目標を定量化する指標	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
C. 目標値	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
D. その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路									
公園	西大崎一丁目緑地	1.3	緑地整備(植栽、遊具、防災用ベンチ、面積193㎡)	1.1	緑地整備(植栽、遊具、防災用ベンチ、面積193㎡)	事業実施による事業費の変更	当初計画していた事業量を実施したため、指標への影響は無い。	○	
公園	(仮称)大崎中学校跡地広場	50.0	広場整備	-	-	事業の削除	削除した本事業による指標への影響は他事業にてカバーするため、影響は無い。		
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	大崎地区内水対策施設	300.0	排水路改良、調整池	170.4	排水路改良(L=245m)	調整池の削除、排水路改良の箇所変更	排水系統及び処理方法を雨水計画の方針に基づいた排水計画に基づき内水対策を進めるため、緊急性の高い箇所につき実施したため、影響はない。	○	
地域生活基盤施設	地域防災支援センター	190.6	地域防災支援センター整備(床面積550㎡)	67.4	防災支援センター整備(床面積331㎡)	・交付対象となる施設規模を縮小 ・事業実施にあたり請け差が発生した ・事業の早期完了を目指すため、市費を充て平成29年度にセンターを完成したことにより事業費を減額	事業全体として当初計画していた事業量を実施したため、指標への影響は無い。	○	
高質空間形成施設									
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	単位	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)		目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	モニタリング	事後評価	モニタリング	事後評価	あり	なし			
指標1	計画区域における浸水予想区域面積	ha			23.7	H26	0	H31	モニタリング			モニタリング	-		
									事後評価	確定見込み ○	0	事後評価	○		
指標2	市民満足度調査	ポイント	H30年度実施の市民満足度調査の結果による。		2.868	H26	2.968	H30	モニタリング			モニタリング	-		
									事後評価	確定見込み	3.024	事後評価	○		
指標3									モニタリング			モニタリング			
									事後評価	確定見込み		事後評価			
指標4									モニタリング			モニタリング			
									事後評価	確定見込み		事後評価			
指標5									モニタリング			モニタリング			
									事後評価	確定見込み		事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	数値はシミュレーション値であり、整備後に実計測となる雨量を記録していないため。	
指標2	市民満足度調査の結果により、目標値を上回り達成していたため。	前回(H26)調査と調査項目が異なり単純比較ができないため、相関関係を持つ項目(水害対策の推進)を採用した。
指標3		
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)		本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度	モニタリング	事後評価		
その他の 数値指標1							モニタリング			
							事後評価	確定 見込み		
その他の 数値指標2							モニタリング			
							事後評価	確定 見込み		
その他の 数値指標3							モニタリング			
							事後評価	確定 見込み		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
降雨時における段階的な浸水区域の確認	予定どおり実施した	○実施頻度：降雨時 ○実施時期：令和2年7月28日 ○実施結果：パトロール等により浸水区域を確認した。	引き続き降雨状況に応じた浸水区域の確認を行う。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名：組織の概要	
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2		指標○		指標○	
指標名		計画区域における浸水予想区域面積		水害対策の強化(市民満足度調査)					
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	公園(西大崎一丁目緑地)	○	排水路の整備により、一定の降雨でも浸水しない見込みとなっている。	○	排水路の整備により、一定の降雨でも浸水しない見込みとなっている。また、西大崎一丁目緑地や地域防災支援センターは集中豪雨による浸水時やその他災害時の避難所として機能することが見込まれる。				
	地域生活基盤施設(大崎地区内水対策)	◎		◎					
	地域生活基盤施設(地域防災支援センター)	○		○					
提案事業									
関連事業									

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	今後の降雨時に対しても引き続き、排水路の機能が発揮されているかモニタリング等を行う。	内水対策事業の効果発現を確認する一つの指標として、今後も確認していく。		
-------	--	-------------------------------------	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標○			指標○			指標○			指標○		
指標名													
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類									
基幹事業													
提案事業													
関連事業													

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- ー: 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)			
------------------	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
①近年多発する豪雨に対応するため、内水対策事業や災害時の避難所としての施設整備が必要である。	排水路整備により降雨時の浸水区域が0haとなることが見込まれる。また、地域防止支援センターは災害時の避難所としての機能が確保されている。	新しい排水系統及び処理方法を雨水計画の方針に基づいた排水計画に基づく排水路整備が必要。	
②工場と住宅が混在する市街地における景観の改善などが必要である。	西大崎一丁目緑地が整備されたことにより、市街地内に緑地のある景観が確保された。	-	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
<p>A欄 効果を持続させるため に行う方策</p>	<p>今後予定している事業において、本地区の内水対策を踏まえ、検討していく。</p>		<p>都市構造再編集中支援事業:三条市中心市街地地区(第二期) 都市構造再編集中支援事業:上須頃地区</p>

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
<p>B欄 改善策</p> <p>・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策</p>	<p>新しい排水系統及び処理方法を雨水計画の方針に基づいた排水計画に基づく排水路整備が必要。</p>	<p>三竹二丁目排水路整備に連携する形での雨水排水設備を整備する。</p>	<p>下水道事業</p>

フォローアップ又は次期計画等において実施する改善策を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

✓	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
✓	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
✓	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
✓	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
✓	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度					予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	計画区域における浸水予想区域面積	ha	23.7	H	0	H	確定 見込み	○	0	○	あり なし			
指標2	市民満足度調査	ポイント	2.868	H	2.968	H	確定 見込み	-	-	-	あり なし			
指標3				H		H	確定 見込み				あり なし			
指標4				H		H	確定 見込み				あり なし			
指標5				H		H	確定 見込み				あり なし			
その他の数値指標1				H			確定 見込み							
その他の数値指標2				H			確定 見込み							
その他の数値指標3				H			確定 見込み							

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		無くなる恐れのない指標と市民満足度調査のようなアウトカム指標を併用することが重要
	うまくいかなかった点	指標2については前回(H26)調査と調査項目が異なり単純比較ができなかった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	目に見えた形で浸水の解消が進んだことにより、事業の情報として沿線市民に知っていただけた。	工事前のシミュレーション等により浸水エリア効果は検証したものの工事進捗により目に見える形で市民からも評価していただいたと考え、他地区に関しても事業期間中に効果が見えるよう工夫していきたい。
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまくいかなかった点	内水対策については、今後継続的にモニタリングしていく必要がある。	
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6ー参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

- ・今後の都市再生整備計画事業の活用予定…都市構造再編集中支援事業:三条市中心市街地地区(第二期)
- ・今後、事後評価を予定する地区…都市構造再編集中支援事業:上須頃地区

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページを通してインターネット上で評価結果	令和3年3月15日～3月30日	令和3年3月15日～3月30日	担当課への郵送、 FAX、Eメール、持参	建設課
広報掲載・回覧・個別配布	-	-	-		
説明会・ワークショップ	-	-	-		
その他	-	-	-		

住民の意見	なし				
-------	----	--	--	--	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	新潟県三条地域振興局 計画調整課長 佐々木 正壽	令和3年3月5日～22日 (書面会議による開催)	建設課	三条市都市再生整備計画に係る実施事業事後評価委員会要綱	独自に設置
その他の委員	三条商工会議所 地域活性化まちづくり委員会委員長 長岡 信治 三条市自治会長協議会 会長 佐藤 栄 子育て支援グループ「かるがも」代表 佐藤 房子				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	-
	成果の評価	・まちづくりの目標として、1つ目の浸水被害の改善としては、整備が進められることによりリスク軽減がされていることから指標1、2項目の評価のとおり目的達成している。 ・水路等の整備により浸水被害が軽減された事は住民の安心、安全につながっている。
	実施過程の評価	・指標の変更もなく、削除された事業についても、他財源で実施するなど当初の目標の達成に向け、確実に進められている。 ・これまでの現況課題を踏まえて計画を実施している。
	効果発現要因の整理	・排水路整備により一定の効果が見込まれ、効果が確認されている。地域防災支援センターには避難所の機能も有することから安全・安心して暮らせる地域の創生に寄与している。
	事後評価原案の公表の妥当性	特になし
	その他	・この地区は中心部にはない地域活動に特徴があり、地区住民との連携も容易と思われる。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	特になし
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	特になし
	フォローアップ	特になし
	その他	・本計画の推進を継続し、次の世代についでください。住民が三条に住んで良かったと感じられる施策をお願いします。 ・防災に関しては、長期に継続していく事業と思うが、災害は想定外で起こる。他地域の防災などを常に勉強し、取り入れられるところは参考にして欲しい。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・水害対策として未整備区域の排水路整備を継続して進めることについて賛同します。 ・水路の増水時における安全対策により、安心して歩行等ができるようにしてほしい。 ・公園の整備により災害時の一時避難所の利用が期待される。公園としての機能をなるべく損なうことがないよう住宅街のいこいの場としてもらいたい。 ・整備計画を進めるにあたり地域を巻き込んだりでの活動を一步二歩と進めてもらいたい。自助共助と言われる昨今だが、公助からの支えをお願いしたい。
その他	-	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--